



《円と線—黄色 Cercle et Ligne - Jaune》 1998年

2015 コレクション展 第4期

高橋 功

永遠からの振動

2016.1.22.Fri. - 4.10.Sun.

9:00-17:00 (最終入館16:30)

会期中無休・観覧無料

秋田県立近代美術館

Akita Museum of Modern Art

ISSAO TAKAHASHI

<第1展示室>

高橋 功
永遠からの振動

横手市(旧雄物川町)出身の画家・高橋功(1951~2005)は、高校卒業後、美術の道を志して上京しました。そして74年に、新天地を求めて渡仏し、その翌年からフランス東部の都市ブザンソンで美術学校に学びました。以降、2005年に54歳の若さで亡くなるまで、画家として、また母校である美術学校の講師として、ブザンソンを拠点に活動を展開しました。第1展示室では、当館のコレクションに加え、高橋の母校である雄物川高校、またフランスと日本のご遺族からご協力を得て、今年、没後10年をむかえた高橋の画業を振り返ります。

“生まれて、存在して、消えていく(死んでいく)”人間を、いつもとても不思議に思い、又、そのモノノアワレは、私をととてもサビシク、カナシク、ウレシク、アリガタク……してくれます。

高橋 功



高橋 功



《自画像》(1978年)



《うずまき》(1996年)

<第2展示室> 山岳礼賛

描く対象としての自然の中でも、崇高な山岳の美は、古くから多くの画家たちを魅了し続けてきました。第2展示室では、秋田蘭画の小田野直武をはじめ、日本画の横山大観、下村観山、寺崎廣業、平福百穂など、9名の画人による壮麗な山々の作品をご紹介します。



小田野直武 《富嶽図》(1770年代)

<第3展示室> 秋田の祭り・行事

豊かな自然に恵まれた秋田では、季節の節目ふしめに行われる祭りや行事が、生活に深く溶け込んでいます。第3展示室では、木版画家・勝平得之と日本画家・館岡栗山の作品を通して、県内各地に伝わる秋田の祭りや行事をご紹介します。



勝平得之 《七夕(湯沢)》(1962年)

[関連イベント]

ギャラリートーク

1月24日(日)、2月21日(日)

各日とも14:00~14:30

美術館5階展示室 ※申込不要、参加無料

[館内イベント]

あきたロシア音楽祭

「大山英子・土崎宏人 デュオ・リサイタル」

2月14日(日)

13:00~14:00

美術館5階中央ホール ※申込不要、鑑賞無料



■交通のご案内

- ・JRとバス
JR横手駅東口からバス「ふるさと村行き」でふるさと村下車
- ・乗用車
秋田自動車道 横手インターより3分
- ・高速バス
高速バス湯沢・秋田線
「横手インター入口」下車 徒歩10分
※「横手インター入口」は秋田行きは乗車のみ、湯沢行きは降車のみです。
- ※車いす対応駐車場がございます。ご利用の際は美術館にお電話ください。

秋田県立近代美術館

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46(秋田ふるさと村内)
TEL:0182-33-8855 FAX:0182-33-8858 E-mail:akitamma@rnac.ne.jp
http://pref.akita.jp/gakusyu/public_html twitter:@akitamma

